

平成17年度
国立特殊教育総合研究所セミナーⅡ
〈参加のご案内〉

Published by The National Institute of Special Education

自閉症のSeminarⅡ 特性に応じた教育

—よりよい指導内容・方法、教育環境をめざして—

- ◆ 期 日 平成18年2月22日(水)
- ◆ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
- ◆ 定 員 700名
- ◆ 主 催 独立行政法人 国立特殊教育総合研究所

独立行政法人国立特殊教育総合研究所においては、これまで自閉症教育に関して小・中学校や知的障害養護学校における実践等を手がかりに研究を蓄積してきました。

これまでの研究、特に平成15年度から3年計画で取り組んでいるプロジェクト研究において、自閉症の特性に応じた指導内容や特性に配慮した指導方法等の詳細が徐々に明らかとなってきています。そこで、自閉症教育をめぐる現在の研究到達点や各地の質の高い教育実践を報告するとともに、今後の小・中学校や養護学校等における自閉症教育の充実と明日への展望を考える機会として、本セミナーを開催することとしました。

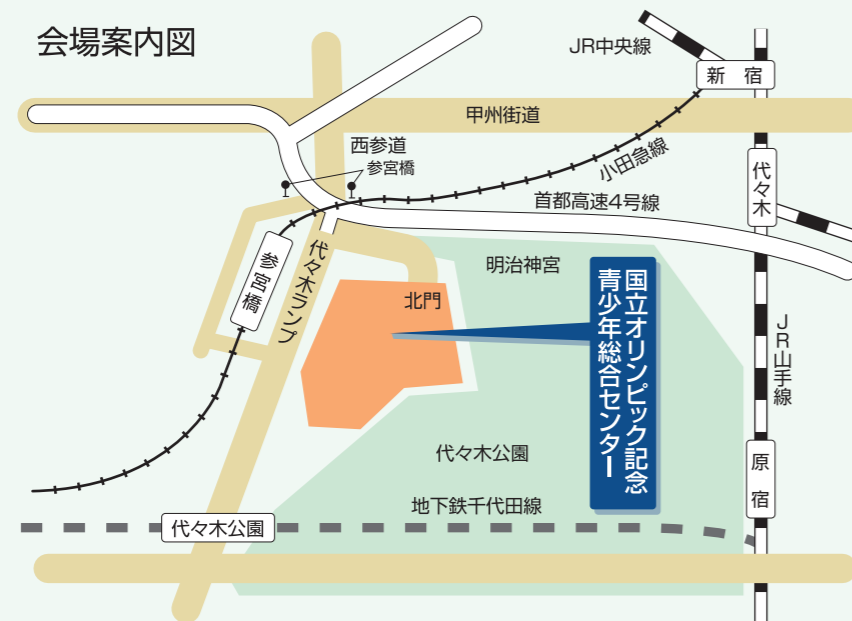
特別支援教育の展開に伴い、自閉症の理解や自閉症の特性に応じた指導は、小・中学校等においても喫緊の課題となっています。盲・聾・養護学校や小・中学校等において自閉症教育に携わっている方々、保護者を含め関心のある方々にセミナーに参加いただきたく、ご案内いたします。

国立特殊教育総合研究所セミナーⅡ 実行委員長 小 塩 允 護

■ 参加申込み ■

- (1) 申込み及び問い合わせ先 独立行政法人 国立特殊教育総合研究所 総務部総務課企画係
〒239-0841 神奈川県横須賀市野比5-1-1
TEL 046-848-4121 内線213(又は214)
FAX 046-839-6918
E-mail kikaku@nise.go.jp
- (2) 申込み要領 別紙参加申込み書(様式)に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailで、お申し込みください。
- (3) 申込み期間 平成18年1月16日(月)～1月20日(金)
(1月15日以前は受け付けません。先着順にて定員になり次第締め切らせていただきます。)
- (4) 定 員 700名
- (5) 参 加 費 無 料
- (6) 昼 食 構内の施設等をご利用ください。
- (7) 宿 泊 宿泊が必要な場合は、各自で手配してください。
- (8) そ の 他 録音・撮影はできませんので、ご留意願います。

会場案内図



〔交通案内〕

- 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約5分
- 京王帝都バス
新宿駅西口(16番)より <参宮橋下車>
渋谷駅南口(14番)より
- 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩約15分
[代々木公園西門出口]

国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 TEL. (03) 3467-7201 (代表) FAX. (03) 3467-7797

■案内は本研究所のホームページ (<http://www.nise.go.jp/>) にも掲載しております。

第1
分科会
テーマ

自閉症の特性に応じた教育課程の改善・充実を図るために

「21世紀の特殊教育の在り方について(最終報告)」で示されたように、知的障害を伴う自閉症児に対して、知的障害と自閉症の二つの特性の違いを考慮した対応が求められています。この課題を解決するためには、知的障害養護学校等における自閉症の特性に応じた教育課程編成の在り方について検討する必要があります。

本分科会では、自閉症の特性に応じて必要となる指導内容及び効果的な指導方法について報告し、それをもとに協議し、教育課程改善の視点を探ります。

- (話題提供者) 猪子 秀太郎 氏 (鳴門教育大学附属養護学校教諭)
 中村 大介 氏 (東京都立中野養護学校教諭)
 徳永 豊 (国立特殊教育総合研究所総括主任研究官)
- (助言者) 石塚 謙二 氏 (文部科学省特別支援教育課特殊教育調査官)
 三苫 由紀雄 氏 (東京都立高島養護学校長)
- 司会：齊藤 宇開 (国立特殊教育総合研究所研究員)

第2
分科会
テーマ

自閉症の子どもの指導のキーポイント
—養護学校における実践事例から—

自閉症の子どもにとって必要不可欠であり、優先的に取り組まれるべき指導内容・方法、つまり“自閉症教育のキーポイント”について、実践事例を通して協議します。検討する内容としては、特に自閉症の子どもにとって、指導しなければ改善することが困難であり、習得することにより子どもの自立と社会参加に広範かつ長期的に影響を与える諸行動を取り上げます。

このテーマは本プロジェクト研究においても、今後の課題となっているものであり、実践的・研究的視点からより一層の知見を積み重ねていく必要がある領域です。

- (話題提供者) 佐藤 克敏 (国立特殊教育総合研究所主任研究官)
 田中 敦司 氏 (滋賀県立甲良養護学校教諭)
 金山 薫 氏 (富山大学人間発達科学部附属養護学校教諭)
- (指定討論者) 小川 浩 氏 (大妻女子大学人間関係学部助教授)
- 司会：小塩 允護 (国立特殊教育総合研究所総合研究官)
 佐藤 克敏 (国立特殊教育総合研究所主任研究官)

第3
分科会
テーマ

自閉症の子どもの社会性を育てるために
—小・中学校における指導内容・方法—

従来の自閉症教育に関する研究成果を踏まえ、小・中学校における高機能自閉症やアスペルガー症候群の子どもの社会性を育てるということに焦点をあて、特殊学級や通級指導教室で行っている指導の実際を報告します。さらに、自閉症の子どもの社会性を育てるための指導方法の一つであるソーシャルストーリーについて紹介し、シンポジウムを通して、高機能自閉症やアスペルガー症候群の子どもの社会性を育てるために、特殊学級等における特別な指導の成果と課題について明らかにしていきます。

- (話題提供者) 小又 正美 氏 (茨城県東海村立白方小学校教諭)
 遠藤 由美子 氏 (横浜市立左近山第一小学校教諭)
 安達 潤 氏 (北海道教育大学旭川分校助教授)
- (指定討論者) 笹森 洋樹 (国立特殊教育総合研究所総括主任研究官)
- 司会：廣瀬 由美子 (国立特殊教育総合研究所総括主任研究官)

日程 平成18年2月22日(水)



- ※会場 午前：カルチャー棟大ホール
 午後：カルチャー棟大ホール、カルチャー棟小ホール、センター棟501
- ※パネル展示による研究活動等の紹介も行っております。(カルチャー棟大ホール・ホワイエ)

午前：全体会 〈カルチャー棟大ホール〉

成果
報告

「自閉症の特性に応じた指導内容・方法、教育環境」

報告者 小塩 允護 (プロジェクト研究代表者 国立特殊教育総合研究所総合研究官)

平成15年度より、プロジェクト研究「養護学校等における自閉症を併せ有する幼児児童生徒の特性に応じた教育的支援に関する研究—知的障害養護学校における指導内容、指導法、環境整備を中心に—」(平成15年度～17年度)に取り組んできました。これまで、「自閉症教育実践ガイドブック—今の充実と明日への展望—」(平成15年度)、「自閉症教育実践ケースブック—より確かな指導の追求—」(平成16年度)をまとめるとともに、北海道、大阪、福岡会場において「NISE自閉症教育実践セミナー」を開催し、成果の普及と自閉症の特性に応じた指導の課題を整理してきました。ここでは、自閉症の特性に応じた指導内容・方法、教育環境について、これまでの研究成果を報告します。

パネル
討議

「自閉症教育の課題と展望」

自閉症教育の現状と課題について、関連領域からの意見を手がかりに協議します。療育関係者には就学前支援の視点から、福祉関係者には在学中および卒業後の地域生活支援の視点から、また、保護者の方にはさまざまなサービスの利用者の視点から、研究の課題や期待を述べていただきます。そして、自閉症の特性に応じた指導の充実に向け、今後の展望を探ります。

- (パネラー) 諏訪 利明 氏 (海老名市立わかば学園長)
 寺尾 孝士 氏 (おしまコロニー星ヶ丘寮施設長)
 氏田 照子 氏 (日本自閉症協会理事・副会長)
- 司会：徳永 豊 (国立特殊教育総合研究所総括主任研究官)